

(報道発表資料)

2022年3月16日

東日本電信電話株式会社 秋田支店

NTT アセットを共有・活用したシェアリングエコノミーの取り組み  
～NTT 東日本秋田支店内にコワーキングスペースがオープン～

東日本電信電話株式会社 秋田支店(支店長 松浦 寛、以下、NTT 東日本 秋田支店)は、NTT 東日本が保有する地域のアセット(社用車、ビル内スペース など)を共有し、新たなライフ/ワークスタイルを創造するシェアリングエコノミーを活用した地域課題解決を推進するため、このたび、NTT 東日本秋田支店内にコワーキングスペース「Connect Labo OMOCE(おもしえ)」(以下、「OMOCE(おもしえ)」)をオープンいたします。

## 1. 本取り組みの背景と目的

シェアリングとは、ソーシャルメディアの普及を背景に、個人や法人が所有する遊休資産(スキルのような無形のものも含む)の貸し出しを仲介するサービスとして始まりました。誰も住んでいない空き家、年間20日程度しか利用されていない自動車をシェアするなどで生まれた経済活動で、その勢いは年々加速、グローバルに成長しています。

一方、秋田県は全国のすう勢を上回る人口減少と高齢化による働き手不足が深刻な社会問題となっており、その対応策のひとつとして関係人口の創出・拡大が課題です。

そこで、NTT 東日本が保有する地域のアセットを共有するとともに、地域のシェアリングプラットフォームを構築し、パートナー企業、自治体と協力して、地域の課題解決に取り組むため、このたび「OMOCE(おもしえ)」をオープンすることといたしました。

## 2. 「OMOCE(おもしえ)」の施設概要

「OMOCE(おもしえ)」は、県内外の皆さまおよび社員が、リモートワークやオンライン会議の際利用できる「ワークスペース」と、秋田の豊かな観光情報や地域とともに歩むNTT東日本の取り組み事例などを紹介する「情報発信スペース」を併設した複合施設です。

リモートワーク環境が必要な地域の皆さまや県外からの出張者、旅行者、帰省者などに広くご利用いただくとともに、隣接駐車場に配備のシェアカー※1を利用した県内観光なども可能なため、ワーケーションの促進、関係人口の拡大にも寄与します。

※1:業務用車両を活用した「カーシェアリングサービスの提供開始について

[https://www.ntt-east.co.jp/akita/information/detail/pdf/20210428\\_01.pdf](https://www.ntt-east.co.jp/akita/information/detail/pdf/20210428_01.pdf)

また、県内企業の皆さまが、県外在住の学生などを対象としたオンライン採用活動（リモート面接やインターンシップ）の際、環境の整った「OMOCE（おもしえ）」のオンライン会議ブースなどをご利用になることなど、様々な観点で、秋田に人を呼び込み根付かせるための拠点として機能してまいります。

(1) 場所

住所：秋田県秋田市中通4丁目4-4 NTT東日本秋田支店内

(2) 営業時間

平日 10:00～17:00

(3) ご利用開始日

2022年3月29日（火）

(4) ご利用料金

オープンから2022年9月末までの期間は利用料無料で開放  
※無料期間中の利用状況などを分析し10月以降の方針を決定

(5) ご利用方法

「ワークスペース」への入退室やブースの予約には、スマートフォンアプリ「fixU（フィックスユー）」の登録が必要です

① 以下のQRコードから会員登録



② アプリをダウンロード

③ 登録済みの「OMOCE（おもしえ）」からチェックイン

※事前予約が必要なブースもあります。

【OMOCE（おもしえ）フロア全体図】



## 【OMOCE (おもしろ) ワークスペース】



### 3. 今後の展開

情報発信スペースを、県内各地域の観光情報の提供に加え、地域の課題解決につながるテクノロジーと導入事例などを「知る」「見る」「体験する」ショールームへ深化させ、地域の皆さまに発信する予定です。

NTT東日本が目指す、地域の魅力・特色を高め、地域の価値を創造すること、地域の生産性を高め、地域循環型社会を実現することに向けた一手として「OMOCE (おもしろ)」を起点とした地域課題の解決に取り組んでまいります。

#### 【参考】施設名称「Connect Labo OMOCE (おもしろ)」について

秋田県内外の皆さまの\*さまざまな「つなぐ」を支えるコミュニケーションとおもてなしの広場。つながることで秋田の新たな「おもしろ」(秋田弁で「面白い」「楽しい」「興味深い」の意)を実感・発見できる場になることを願い名付けました。

\*さまざまな「つなぐ」の例

リモートワークで都市と地方を「つなぐ」

ワーケーションで仕事と観光を「つなぐ」

最新の技術・サービスで今とミライを「つなぐ」 など